

平成 22 年度 環境技術実証事業検討会
ヒートアイランド対策技術分野
(地中熱・下水等を利用したヒートポンプ空調システム)
ワーキンググループ会合 (第 3 回)
議事要旨 (案)

1. 日時：平成 23 年 3 月 4 日 (金) 15:00~17:00
2. 場所：株式会社三菱総合研究所 4 階 大会議室 D
3. 議事
 - (1) 今までの検討経緯について
 - (2) 実証試験結果について
 - (3) 実証試験要領の見直しについて
 - (4) ロゴマーク (案) について
 - (4) 今後のスケジュール
 - (5) その他
4. 出席検討員：藤井光 (座長)、足永靖信、大岡龍三、笹田政克、関根賢太郎、花崎広隆、
藤谷泰裕
実証機関：服部旭、宮崎眞一
5. 配付資料
 - 資料 1 今までの検討経緯について
 - 資料 2 実証試験結果の概要 (非公開)
 - 資料 3-1 平成 23 年度実証試験要領修正内容 (案)
 - 資料 3-2 平成 23 年度実証試験要領 (改訂案)
 - 資料 4 ロゴマーク (案)
 - 資料 5 今後のスケジュール (予定)
 - 参考資料 1-1~1-6 実証試験結果報告書 (案) (非公開)
6. 議事
会議は公開で行われた。

(1) 今までの検討経緯について

- ・事務局より資料 1 今までの検討経緯について説明。

(2) 実証試験結果の概要 について

- ・実証機関より資料 2 実証試験結果の概要について説明。

(3) 平成 23 年度実証試験要領 (案) について

- ・事務局より資料 3-1 実証試験要領修正内容 (案)、資料 3-2 実証試験要領 (改訂案) について説明。
- ・実証運営機関の役割に関する表現を明確にすべきとの意見があった。具体的には、実証機関が実証試験計画を作成する際に必要に応じて実証運営機関と協議すること等。
- ・実証試験要領内において、「標準的なシステム」として地下水・下水熱源且つ直膨式のシステムに関する記載がないため、当システムが実証対象でないとの誤解を与えないよう、表現を工夫すべきとの意見があった。
- ・規制緩和により下水管のバイパスが可能となり、下水熱源のシステムが今後申請される可能性があるとの意見があった。
- ・実証試験要領内において、統一的でない表現を修正することが確認された。具体的には、図におけるポンプの記号の方向等。

(4) ロゴマーク (案) について

- ・事務局より資料 4 ロゴマーク (案) について説明。
- ・実証試験結果に関する留意点は、実証試験結果報告書に記載することが望ましく、p8 において提言されたように「ロゴマーク近傍に実証結果を示す場合に、併せて細かい留意点を示すべき」という規定は設けないことが確認された。
- ・ロゴマークは、以下の方針で最終案とすることが確認された。
 - －p7 左下の案（「第三者実証結果公開中」「実証番号」「実証年度」を記載）をベースとする。
 - －報告書へのアクセスを高めるため、URL は当事業トップページではなく実証試験結果を公開するページの URL に変更する。
 - －「第三者実証結果 公開中」という記載は、「第三者機関が実証した性能を公開しています」に変更する。

(5) 今後のスケジュールについて

- ・事務局より資料 5 今後のスケジュールについて説明。

(文責：環境省水・大気環境局総務課環境管理技術室 速報のため事後修正の可能性あり)